

平成 24 年 12 月 13 日

1 2 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。

- 福島第一原子力発電所の事故から 1 年 9 ヶ月が経ちましたが、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、今なお、大変なご迷惑とご心配、ご苦勞をおかけしておりますことを、あらためてお詫び申し上げます。

- まずは、当社の原子力改革プランについてです。
当社は、原子力改革プランを取りまとめ、明日、原子力改革監視委員会への報告を経た後、その内容について公表させていただきます。
原子力改革プランについては、今年 9 月に社長をトップとする原子力改革特別タスクフォースを設置し、世界最高水準の安全意識と技術的能力及び対話能力を有する組織として生まれ変わることを方針として、「経営層からの改革」、「組織改革」、「業務プロセスの改革」、「規制当局、立地地域、社会との関係の改革」の 4 つの視点から改革プランについて検討が進められてきました。
当発電所につきましては、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、設備面・運用面の両面から私どもが考え得るさまざまな安全対策に取り組んできたところですが、新たに示される原子力改革プランを踏まえ、これらの取り組みを一層加速させ、地域の皆さまから安心いただき信頼される発電所となるよう努めてまいります。

- 次に、発電所の安全対策に関する主な取り組み状況についてです。
昨日、発電所構内において緊急時対応訓練を実施したところですが、発電所においては緊急時の備えとして体制の強化を進めるとともに、継続的に訓練を行い対応力の向上に努めているところです。

今回の訓練には、約 400 名が参加し、緊急時対策本部においては、プラント状況の把握や本部内における情報共有、各班との連携、社外への情報伝達に関する総合的な訓練を、また、各班においては緊急車両の運転・操作などの訓練や避難誘導訓練などを実践的に行いました。今後も、それぞれの立場の役割を明確にし、実践的な訓練を重ねてまいります。

次に、設備面の取り組みについてですが、1～4号機側の防潮堤の工事は、本体となる擁壁部の鉄筋の組み上げやコンクリートの打設作業を進めており、全 50 ブロック中 15 ブロックが完成し、順調に工事を進めております。

淡水貯水池については、10 月末より水張り作業を開始し、先月半ばには貯水池からタンクまでの送水試験を終えました。引き続き、水張り作業を継続し、貯水率は約 7 割となっており、今月中には貯水を終える予定です。

また、現在実施している断層の活動時期に係わるボーリング調査は、これまでに敷地内においてボーリングを 2 本追加し、全 7 本中 6 本が完了しております。年内にはボーリング作業を終える予定としており、引き続き、分析・評価を進め、来年 2 月頃までに評価結果を取りまとめたいと考えております。

○ 次に、使用済燃料のウォータ・ロッドに変形が確認された件の対応状況についてです。

当所においては、チャンネルボックス上部の点検作業の一環で、使用済燃料のウォータ・ロッドに曲がりがあることを確認したことから、継続した調査を進めており、これまでに 5 号機の使用済燃料プールで保管をしている使用済燃料 18 体に曲がりを確認しております。

昨日までに、ファイバースコープによる点検結果をお知らせさせていただきましたが、引き続き、ウォータ・ロッドの曲がりの状況把握と原因究明ならびに当該燃料の健全性に対する影響評価を進めてまいります。

これらの調査や評価結果につきましては、取りまとめた段階で原子力規制委員会へ報告するとともに、お知らせいたします。

- 最後に、新潟県内の 28 自治体との安全協定締結に向けた対応状況についてです。

新潟県内の 28 自治体とは、これまでに通報連絡に関する協定を締結・施行し、これに基づき各自治体への情報提供を進めてきたところですが、11 月 2 日に開催された、第 8 回の市町村による原子力安全対策に関する研究会において、新潟県内の 28 自治体と当発電所との間での安全協定に関して、研究会としての基本的な考え方が議論され、先月 26 日に研究会の代表幹事である長岡市長様より協議開始のご要請をいただきました。

現在、締結に向けた協議を進めさせていただいており、今後も真摯に対応してまいります。

- 本日、私からは以上です。

以 上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所 DATA BOX
プレス公表 (運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成24年12月)

平成24年12月13日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4 ~ H22.8.4 停止期間 H19.5.4 ~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定期検査による停止												
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24 ~ H23.2.18 停止期間 H18.11.24 ~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定期検査による停止												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31 ~ H23.3.9 停止期間 H22.10.31 ~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定期検査による停止												
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18 ~ H22.7.23 停止期間 H22.4.18 ~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定期検査による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (11月末現在)

11月	0.0%
24年度累計	0.0%
運転開始後累計	61.1%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (11月末現在)

11月	0
24年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (H24年度第2四半期)

当期発生本数	1,398
貯蔵庫累積貯蔵本数	33,538
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H24年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,772
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (12月3日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	889	2,174	58%
	刈羽村	90	199	6%
	その他	116	998	21%
	小計	1,095	3,371	85%
県外		110	671	15%
合計		1,205	4,042 (3,504*)	-
		5,247		100%
協力企業社数(社)		663		

※12月3日の協力企業構内入構者数

⑦ 来客情報(人) (11月末現在)

	11月	年度累計
地元	774	6,312
県内	700	6,527
県外	1,033	7,998
国外	76	287
合計	2,583	21,124

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
12月27日	定例の記者説明会
1月10日	次回定例所長会見

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	11月12日	4号機	原子炉建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—